

PCBを含む電気機器について

PCBを含む電気機器については、PCB特別措置法により、毎年度、県（金沢市内の事業場は金沢市）に届出が必要です。届出の必要な電気機器は次のものです。

1. 電気工作物

変圧器（高圧トランス等）、電力用コンデンサ（高圧コンデンサ等）、計器用変成器、リアクトル、放電コイル、電圧調整器、整流器、開閉器、遮断機、中性点抵抗器、避雷器、OFケーブル

(1) 別表に掲げる電気工作物の種類、製造者毎に示される表示記号等と一致したもの（別表：p 2～4）

※ 経済産業省、原子力安全・保安院のホームページを参照下さい。

<http://www.nisa.meti.go.jp/text/denanka/170401.pdf>

（高圧コンデンサでは100%、高圧トランスでは約60%のPCBを使用）

(2) 上記以外の場合であって、PCBを含有する絶縁油を使用するものであることが判明したもの

※ PCBを使用していないとする絶縁油を用いたトランス等の中には、低濃度のPCBが混入している場合があります。メーカーに確認し、PCBの混入が否定できない場合は、機器ごとに測定し、PCB含有の有無を確認下さい。PCBの混入が確認されたものはPCB廃棄物となります。

なお、トランス等に封入された絶縁油中のPCB濃度が0.5mg/kg以下である場合はPCB廃棄物に該当しません。

PCBを含有しないことが確認されるまでの間はPCB廃棄物と同様に適正に保管して下さい。

※ それぞれの機器にPCBが含まれているかどうかは、銘板に載っている型式や製造年月をもとに各メーカーに問い合わせてください。

（社）日本電機工業会ホームページを参照下さい。

<http://www.jema-net.or.jp/>

2. PCB使用安定器

昭和32年1月から昭和47年8月までに製造された、施設用の蛍光灯器具、水銀灯器具及び低圧ナトリウム灯器具（判別方法：p 5～6）

※ 問い合わせは、（社）日本照明器具工業会ホームページを参照下さい。

<http://www.jlassn.or.jp/siryu/pcb.html>

(別表)

電気工作物の種類	製造者名	表示記号等
変圧器	株式会社愛知電機工作所	変圧器不燃性油（1965年以前製造のもの）、 不燃油変圧器（1966年以降製造のもの）、 冷却方式「L N A N」（1966年以降製造のもの）
	富士電機製造株式会社	富士不燃性合成絶縁油入、富士シンクロール油入、 不燃性油入、カネクロール油入
	株式会社日立製作所	「J」（型式番号中に「J」が含まれるもの）
	北陸電機製造株式会社	不燃性油入、不燃性絶縁油入、カネクロール油入、 富士シンクロール油入、不燃性合成絶縁油入変圧器
	株式会社明電舎	A（型式番号中、ハイフンの前の群に「A」が含まれる もの） (NITAX、NIKAX、NIRSAX、NITSAX、NITA、NIRAX、 NIRGAX、NIRSGAX、NORAX、NORSAXY、NOTAX、 NORAXY、NIFA、NIFAX、NILAX、等)
	三菱電機株式会社	不燃性油入
	日新電機株式会社	不燃油入、A F 式
	大阪変圧器株式会社	不燃油入、不燃油使用
	株式会社高岳製作所	U（型式番号中に「U」が含まれるもの、ただし「UM」 の記載品は除く）、不燃性油入
	東光電気株式会社	不燃性油入
電力用コンデンサー	東京芝浦電気株式会社	・不燃性絶縁油入 ・S（型式番号が「S」で始まるもの（ただしSIで始 まるもの及び型式SH-5～20を除く）） ・型式番号がEPT-Sのもの ・L（冷却方式が「L」で始まるもの） 参考）型式番号表示で「S」を使用しているHCTR- S1～S21、HCR-S1～S21は対象ではない
	中国電機製造株式会社	不燃性油入
電力用コンデンサー	株式会社日立製作所	T P B、J（型式番号中に「J」が含まれるもの）
	日立コンデンサ株式会社	D F C A P A C I T O R、D F 式コンデンサ

マルコン電子株式会社 二井蓄電器株式会社 東京電器株式会社	表示に、PFCD、NHD、DF、NLD、NLD-C、 不燃性油入、シバノール入と示されているもの または型式が、CD~、MCD~、NCD~、FCD~、 SSD~、SD~、D~、SDAB~、SDB~、SD R~、FCDE~、~FCD~、~SDS~、~SDF ~、 ~AK~、~AD-~、~AST-~、SRT-AIN R、SRTR~、SR-~、~ED~、~EDS~、~ EDF~、~AF~、~A-~(ただし、~は数字(群)、 -はハイフンを示す)で示されるもの
松下電器産業株式会社	A F 式
三菱電機株式会社	KL-1、KL-2、KL-3、KUF、KAF、KB F、KEF、KUP、KAP、KBP、KEP、KTP、 KAL、KGL、不燃性油入
日本コングレ工業株式会 社 株式会社関西二井製作 所	SPF、TPF、TPA、TPB、TPE、SAD、S AT、HPP、SF、TCS、TCB、AIB、TES、 TEB、SFAI、TPFI、TPEI、DF式
日新電機株式会社	A F 式、A F P 式、不燃性油含浸、三塩化ビフェニール 含浸、五塩化ビフェニール含浸
株式会社指月電機製作 所	THK、LV-1、SAK、PPA、PL、DF、DF 式、不燃性油入、LOWVAC CAPACITOR、 または型式記号が、AK、AL、BK、BL、CK、C L、DK、DL、FK、FL、HFT、HTG、KK、 KL、KTD、KTM、KTQ、KTT、KTU、P、 RAK、RAS、RDF、RMO、RWO、RZO、S AK、SAS、STD、STM、STQ、STT、ST U、THK、THS、ZA、ZH、ZJで始まるもの(た だし、PF、PHF、PPM、PPK、POMPで始ま るものは除く)
株式会社帝国コングレ製 作所	不燃油、不燃性油、油入D式、不燃性絶縁油含式、不燃 油絶縁式、塩化ビフェニール式、不燃性絶縁油式、 または型式記号が、A、B、C、D、E、Fで始まるも の
東京芝浦電気株式会社	S(型式番号が「S」で始まるもの)、不燃性絶縁油入、 PFCD、CD、シバノール
中国電機製造株式会社	不燃性油入
古河電気工業株式会社	不燃性油、不燃性、A F 式不燃性油入

計器用変成器	富士電機製造株式会社	不燃性油入、富士シンクロール油入、富士不燃性合成絶縁油入、ポリ塩化ビフェニル使用
	株式会社日立製作所	J (型式番号中に「J」が含まれるもの)
	株式会社明電舎	A (型式番号中、ハイフンの前の群に「A」が含まれるもの) (PAX、PAXE、CAPX、CNPAX、等)
	三菱電機株式会社	FH、CSF、CF、THF、CNF、CLF、TA、HSF
	日新電機株式会社	A (型式記号が「A」で始まるもの)、不燃油入、AF式
	株式会社高岳製作所	1957年から1958年製造のもの(計器用変圧器または接地型計器用変圧器)、1958年から1959年製造のもの(計器用変流器)
	東光電気株式会社	不燃性油入
	東京芝浦電気株式会社	S (型式番号中、ハイフンの後の群が「S」で始まるもの)、不燃性絶縁油入
リアクトル	富士電機製造株式会社	富士不燃性合成絶縁油入、富士シンクロール油入、不燃性油入
	株式会社日立製作所	J (型式番号中に「J」が含まれるもの)
	株式会社明電舎	A (型式番号中、ハイフンの前の群に「A」が含まれるもの)(NITAX、NIKAX、等)
	三菱電機株式会社	不燃性油入、Z313655、Z313656、Z313657、Z313658、Z377819
	日本コングロマ工業株式会社	SRD、SD
	日新電機株式会社	AF式、不燃油入
	東京芝浦電気株式会社	S (型式番号中、ハイフンの後の群が「S」で始まるもの)、不燃性絶縁油入
	古河電気工業株式会社	不燃性油入、不燃性油、不燃性
放電コイル	日新電機株式会社	不燃油入、AF式
	東京芝浦電気株式会社	S (型式番号中、ハイフンの後の群が「S」で始まるもの)、不燃性絶縁油入

PCB使用安定器の判別について

1. PCB使用安定器を使用していた照明器具の種類

昭和32年1月から昭和47年8月までに製造された、施設用の蛍光灯器具、水銀灯器具及び低圧ナトリウム灯器具のうち、次の種類のものに使用されていました。

(1) 蛍光灯器具

「ラピッドスタート式」及び「フリッカレス式」で、「高力率形」のもの。使用蛍光ランプは、40W 2灯用が主ですが、他に60W、80W、110W、220Wがある。

なお、特殊用途(耐食形、防爆形、調光形など)として、40W 1灯用及び20Wのラピッドスタート式のものがあるが、一般的な施設では使用されていない。

◎銘板:「ラピッドスタート式」、「直列ラピッド式」、「シーケンス式」、「直列逐次点灯式」、「2灯直列点灯形」、「フリッカレス式」(注:式は形と表示されている場合がある)

(2) 水銀灯器具

「一般形」で、「高力率」のもの。「定電力形」のもの、及び「フリッカレス形」のもの。

なお、この器具の主な用途は、体育館や工場など高天井に設置される照明や、道路照明などである。

また、安定器は、一般には器具に内蔵されておらず、器具と分離して「別置形」として設置されている。

◎銘板:「一般形」、「定電力形」、「フリッカレス形」

(3) 低圧ナトリウム灯器具

全機種。なお、この器具の主な用途は、トンネル灯である。

◎種類によらず該当

※一般家庭用の蛍光灯器具は、「グロースタート式」の「低力率形」であり、PCBは使用していません。

2. PCB使用安定器の点検と判別方法

その照明器具にPCB使用安定器が使用されているかどうかは、次の手順により点検・判別してください。

(1) 施設の建築年又は照明器具の保守交換時期の判別

その施設を建築・改修された時期又は照明器具を保守交換された時期を確認してください。

その時期が、1957年(昭和32年)1月から1972年(昭和47年)8月までのものであればPCB使用安定器が使用されている可能性があります。

(2) 照明器具の種類判別

次にその施設に設置されている照明器具の種類を確認してください。

別紙1の上段に代表的な各種器具の姿図を示してあります。この図を参考に蛍光灯器具、水銀灯器具、低圧ナトリウム灯器具の判別をしてください。

(3) 安定器の銘板記載事項による最終判別

次に器具の反射板や蓋等はずして内蔵されている安定器の銘板を確認してください。安定器の銘板は、別紙1の中段の図に示す個所に貼付されています。

銘板には、別紙1の下段に示すような表示がしてあります。この表示により判別を行ってください。

「別紙1」

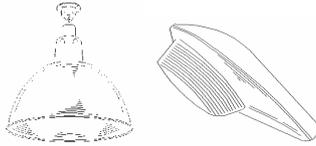
PCB安定器(コンデンサ)を使用した照明器具

昭和32年1月から昭和47年8月までに製造された、次の器具に使用されています。

蛍光灯器具

水銀灯器具

低圧ナトリウム灯器具



(オフィス・教室用等)

(高天井用・道路用)

(トンネル用)

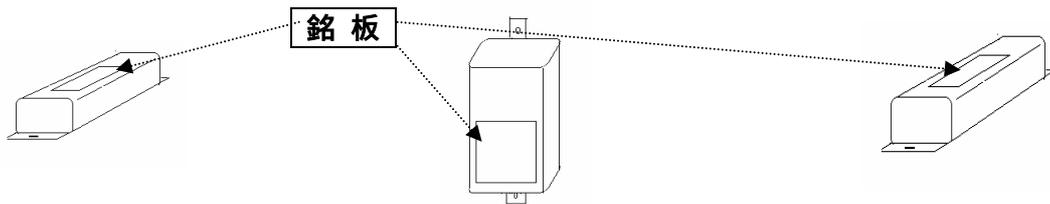
具体的には、安定器の種類によりPCBコンデンサが使われています。

安定器の種類等は、「銘板」で確認できます。

蛍光灯安定器

水銀灯安定器(別置)

低圧ナトリウム灯安定器



(器具本体に内蔵)

(取付台・ポール収納ボックスに設置)

(器具本体に内蔵又は別置)

安定器の「銘板」で、種類・力率(高力率)・製造年(ロット番号)を確認し、該当するかどうかを判定してください。

蛍光灯安定器

水銀灯安定器(別置)

低圧ナトリウム灯安定器

